

令和8年度

吉岡中学校の学習案内

第2学年



熊谷の子どもたちは、これができます！

- ① 朝ごはんをしっかり食べる。
- ② 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- ③ 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- ④ 友だちをたくさんつくる。

熊谷市立吉岡中学校

学習案内(シラバス)

1 学習案内(シラバス)とは

学年ごと、教科ごとの学習目標や計画、学習評価の方法などを示したものです。

2 学習案内(シラバス)の役割

(1)授業の「羅針盤」となる

それぞれの教科でいつ、どんな学習をするのかがわかります。

(2)学習の効果を高める

1年間や各学期で、その日の授業がどこに位置づけられているのかを確認したり、授業のねらいや学習する内容を把握したりすることで、学習効果をさらに高めることにつながります。また、家庭学習で予習をする時に見通しをもつことができます。

(3)よい学習環境をつくる

教師はシラバスに沿って授業を進めることで生徒への約束となり、生徒はシラバスの内容を理解することでよい学習環境をつくることにつながります。

(4)保護者に授業の雰囲気伝え、教師は授業をデザインする

保護者の方々にとっては授業の雰囲気を知ることにつながり、教師にとっては意図的、計画的に授業を進めることにつながります。

学力向上に向け、お子様と保護者でぜひ本冊子をご活用ください。

第2学年 国語科 学習案内

	単元名・教材名	学習内容	学習のねらい
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・虹の足 ・春の詩 ・タオル ・活用のない自立語 ・日本の花火の楽しみ ・水の山富士山 ・敬語 ・硬筆 ・夢を跳ぶ ・SNS から自由になるために ・持続可能な未来を創るために ・紙の建築 ・活用のある自立語 ・敦盛の最期 ・随筆の味わい 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現に即した読み取り ・春の詩の創作 ・登場人物の心情の変化の読み取り ・名詞、連体詞など ・意見と根拠、情報のつながり ・説明文の読み比べ ・尊敬語と謙譲語 ・漢字と仮名の調和 ・福祉についての情報 ・SNS の利用の仕方 ・持続可能な社会の実現に向けた情報 ・紙の建築物と環境 ・用言の活用と種類 ・「平家物語」 ・「枕草子」「徒然草」 	<ul style="list-style-type: none"> ○比喻や象徴の表現などに注意して読む。 ○工夫して春の心情を表す詩を創作する。 ○語感を磨き語彙を豊かにし、人物の設定とその関係をとらえる。 ○活用のない自立語のはたらきを理解する。 ○花火の構造と富士山の恵みについて知る。 ○説明の仕方という観点で二つの文章を読み比べる。 ○尊敬語と謙譲語のはたらきと特徴を知る。 ○硬筆展手本で横書きの仕方を学ぶ。 ○情報を選び、自分の考えを明確にする。 ○含まれる情報を整理し、文章の特徴を理解する。 ○持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。 ○情報のつながりを理解し、整理して読む。 ○用言の活用と種類、用法を理解する。 ○仮名遣いに注意して読み、人物の心情や筆者の見方・考え方をとらえる。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・二千五百年前からのメッセージ ・坊っちゃん ・短歌の味わい ・夏の葬列 ・ガイアの知性 ・書きぞめ ・学ぶ力 ・討論をする ・付属語のいろいろ ・豚 ・走れメロス 	<ul style="list-style-type: none"> ・「論語」に表れた孔子の考え方 ・主人公の人柄と心情 ・短歌の情景や心情 ・時間順にともなう人物の心情の変化 ・自然や知性についての筆者の考え方 ・行書の筆使い ・事実と主張の関係 ・立場と考えを尊重する ・助詞・助動詞の役割 ・詩の言葉のイメージ ・人物と語り手の見方・考え方の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ○音読を通して漢文の表現に慣れ、孔子の考えをとらえる。 ○日本を代表する作家と作品にふれる。 ○情景などに注意して読み、意味を考える。 ○時間順に留意し、人物の言動の意味から主題をとらえる。 ○語句の意味に注意し、筆者の考え方について自分の考えをまとめる。 ○書きぞめ手本で行書を大きく書く。 ○理解したことから自分の知識を深める。 ○共通点や相違点をとらえて話し合う。 ○助詞・助動詞のはたらきを理解する。 ○詩の言葉の意味やイメージに注意する。 ○人物や語り手の見方・考え方の変化を理解し、自分の考えを深める。

○評価について

観点別評価（A・B・Cの3段階）を統合して評定する（5・4・3・2・1）。

評価の観点	(ひとつの) 具体的な例	方法等
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや文法を理解している。 ・書写等の作品を丁寧に仕上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テスト、文法テスト ・硬筆作品、毛筆作品、掲示物 ・定期テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを全員に聞こえる声でスピーチしている。 ・学習した文章構成を使って文章を書いている。 ・文章を正確に読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ、聞き取りテスト ・授業中の発表、発言、聞く態度 ・課題作文、読書感想文 ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に熱心に取り組む前向きな発言をしている。 ・ノートやワークを期限内に仕上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの記述内容、ワーク ・授業に取り組む姿勢や発言 ・提出物の状況、自己評価表

令和8年度 第2学年 社会科 学習案内

1 主な年間計画

学期	分野	単元名	主な学習のねらい	主な学習内容
前期	歴史	○ 近世の日本	・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。	・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立及び農村の様子、鎖国下の対外関係、江戸幕府の政治の特色
	地理	○ 日本の地域的特色と地域区分 ○ 日本の諸地域	・日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の自然環境に関する特色を理解させる。 ・①自然環境、②人口や都市・村落、③産業、④交通や通信、⑤その他の事象を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる	・日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、国内の地形、気候の特色、自然災害と防災への努力 ・①自然環境、②人口や都市・村落、③産業、④交通や通信、⑤その他の事象を中核とした考察 これらの中核とした考察
後期		○ 地域調査の手法	・野外観察や聞き取り調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解させる。	・地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けさせる。
	歴史	○ 開国と近代日本の歩み	・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。	・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化、新政府による改革の特色、人々の生活の変化

2 評価と評定について

観点別評価（A・B・Cの3段階）を統合して評定（1・2・3・4・5の5段階）をします。

評価の観点	具体的な例	方法等
○ 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・2枚の写真から衣服の違いを読み取り、その共通点と相違点の背景について説明している。（地理） ・明治維新の目的とそれが果たした役割について説明している。（歴史） ・国会、内閣を中心とする我が国の民主政治の仕組みとその意味を理解している。（公民） 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・課題やレポートの内容 ・小テスト ・ワークの提出物の提出状況等
○ 思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・景観写真と文章資料から宗教と気候に関する情報を読み取り、地図上で写真が撮影された地点を特定する。（地理） ・明治維新の目的やねらい、背景や影響、原因や結果などについて多面的・多角的に考察し、表現している。（歴史） ・社会をよりよいものにするために、最終的に決定する権力をもっている私たちはどのように政治に関わるのがよいか、考察、構想し、表現している。（公民） 	
○ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習を振り返って、関心をもち、さらに調べたいことや、よく分からなかったことを整理し、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。（地理・歴史） ・単元の学習後も関心をもって自ら追究し続けたい、解決、改善を図っていきいたいこととして見出した、問いの内容とその社会的意義について記述している。（公民） 	

3 社会科からのお願い

家庭で新聞やニュースに触れる機会や、それについて話題にする機会を意図的に増やしていただければと思います。その際、ニュースに対するご家庭の考えをお子様に伝え、お子様の考えも聞いていただきたいです。授業では、生徒の意見を交流する場面を増やしていますので、ご家庭でも社会に関心を持つよう働きかけていただければと思います。

第2学年 数学科 学習案内

	学習内容	学習のねらい
前	1 式の計算 ・式の計算 ・文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすること ・文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解すること ・目的に応じて、簡単な等式を変形すること ・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現すること ・文字を用いた式を具体的な場面で活用すること
	2 連立方程式 ・連立方程式 ・連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・二元一次方程式とその解の意味を理解すること ・連立二元一次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解すること ・簡単な連立方程式をとくこと ・一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現すること ・連立方程式を具体的な場面で活用すること
期	3 一次関数 ・一次関数 ・一次関数の値の変化 ・一次関数のグラフ ・一次関数の式を求めること ・方程式とグラフ ・連立方程式とグラフ ・一次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・一次関数について理解すること ・事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを理解すること ・二元一次方程式を関数を表す式をみること ・一次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること ・一次関数を用いて具体的な事象を捉えて考察し表現すること
後	4 図形の調べ方 ・角と平行線 ・多角形の角 ・三角形の合同 ・図形の性質と利用 ・証明	<ul style="list-style-type: none"> ・平行線や角の性質を理解すること ・多角形の角についての性質を見出すこと ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解すること ・証明の必要性和意味及びその方法について理解すること ・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認説明すること ・三角形の合同条件などをもとにして図形の性質を論理的に確かめること
	5 図形の性質と証明 ・二等辺三角形 ・直角三角形の合同 ・平行四辺形 ・いろいろな四角形 ・平行線と面積	<ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形の合同条件について理解すること ・証明の必要性和意味及びその方法について理解すること ・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見だしたりすること ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用すること
期	6 確率 ・確率の意味 ・確率の求め方 ・いろいろな確率 ・確率の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・多数試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること ・簡単な場合について確率を求めること ・同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現すること ・確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること
	7 箱ひげ図とデータの活用 ・箱ひげ図 ・データを活用した問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解すること ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すこと ・箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断すること

【評価について】

評価の観点	具体的な例	方 法 等
知識・技能	「式の計算」では、 $3x^2$ 、 $-2x+5$ 、 $x^2+3xy-6y$ から多項式を選び、項と次数がわかる。 「図形の調べ方」では、十二角形の内角の和が求められる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組や発表 ・小テスト、単元テスト、定期テスト ・ワークシート、ノートの記述事項 など
思考・判断・表現	「連立方程式」では、連立方程式を利用して、文章問題を解くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組や発表 ・単元テスト、定期テスト ・ワークシート、ノートの記述事項 など
主体的に学習に取り組む態度	「一次関数」では、身のまわりから、一次関数になっている場面を見つけようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取組や姿勢、発表 ・提出物（ノート、ワーク、復習プリント） など

第2学年 理科 学習案内

	学習案内	学習のねらい
前 期	単元1 化学変化と原子・分子 1章 物質のなり立ち 2章 物質どうしの化学変化 3章 酸素がかかわる化学変化 4章 化学変化と物質の質量 5章 化学変化とその利用	<ul style="list-style-type: none"> ・物質を分解する実験を通して、分解して生成した物質はもとの物質とは異なることを見いだして理解する。また、物質は原子や分子からできていることを理解するとともに、物質を構成する原子の種類は記号で表されることを知る。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する。 ・化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養い、自然を総合的に見るができるようにする。
	単元2 生物のからだのつくりとはたらき 1章 生物と細胞 2章 植物のからだのつくりとはたらき 3章 動物のからだのつくりとはたらき 4章 刺激と反応	<ul style="list-style-type: none"> ・生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目して、生物と細胞について理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・植物のからだのつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現する。 ・生命を維持するはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、また、刺激と反応に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。
後 期	単元3 天気とその変化 1章 気象の観測 2章 雲のでき方と前線 3章 大気の動きと日本の天気	<ul style="list-style-type: none"> ・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、気象観測、霧や雲の発生などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 ・天気の変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性などを見いだして表現する。 ・日本の気象、自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。
	単元4 電気の世界 1章 静電気と電流 2章 電気の性質 3章 電流と磁界	<ul style="list-style-type: none"> ・静電気性質および静電気と電流には関係があること、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。また、静電気と放電を関連させ、放射線の性質と利用について理解する。 ・電気に関する観察、実験を見通しもって行い、電流と電圧に関する規則性や関係性を見いだして表現する。 ・電流と磁界に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

【評価について】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、実験、観察を行い科学的に探究し表現している。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究し、意欲的に学習に取り組む。
方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期テスト ・単元テスト ・小テスト ・振り返りシート ・パフォーマンステスト ・実験・観察記録など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期テスト ・単元テスト ・小テスト ・振り返りシート ・実験・観察記録など 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ワークシート ・振り返りシート ・提出物 ・小テスト ・実験・観察記録など

音楽科の学習について（2年生）

1 音楽科の学習のねらい

中学校の音楽では、生涯を通して音楽を愛好し、音楽活動の楽しさや喜びを得て、豊かな情操を養うことをめざしています。授業の内容は、表現と鑑賞です。

(1) 表現の活動

- 歌 … 斉唱・合唱を行います。
- 器楽 … リコーダーを中心に、独奏やアンサンブルを行います。

(2) 鑑賞の活動

- 聴くこと… 音楽を構成する要素に注意しながら、さまざまな音楽を鑑賞します。

2 主な学習内容

前 期	後 期
曲の構成とハーモニー ・明日を向いて ・翼をください ・Joyful, Joyful いろいろな声の表現を味わおう ・kum ba yah ・サンタ ルチア 他 心の歌 ・夏の思い出 ・荒城の月 フーガのおもしろさを味わおう ・フーガ ト短調 混声合唱へのステップ① ・夏の日の贈りもの ・クラス合唱の選曲 ・全校・学年合唱曲	混声合唱へのステップ② ・全校・学年合唱曲の練習 ・クラス合唱曲の練習 名曲に親しもう ・交響曲第5番 ・オペラ「アイダ」 世界各地の音楽を味わおう ・花の季節 ・世界の諸民族の音楽 日本の伝統芸能に親しもう ・歌舞伎 長唄「勸進帳」 ・文楽「新版歌祭文」から“野崎村の段” 卒業式の歌 リコーダーで名曲を演奏しよう ・これはなんとすばらしい音だ ・星の世界 ・威風堂々

3 授業の約束について

(1) 持ち物

週1時間の授業は大変貴重です。まず、忘れ物をしないで下さい。持ってくる物は次の通りです。

- 教科書類 2, 3 (上) の教科書、器楽、コーラスステージ
- ファイル 配られたプリント類を入れておく
- リコーダー
- 筆記用具

教科書類も多いので、できるだけ一つの袋に入れてきて下さい。

その日に使う物を忘れた場合、他のクラスの人から借りてきても用意して下さい。それもできない場合忘れ物を減点としてチェックします。

(2) 授業の受け方

①よりよい表現をするために、まずはいつもいい姿勢を保つようにしましょう。

先生はポイントをアドバイスします。他のパートや人への注意でも、自分に対することのように受け止めるよう心がけてください。しかし何といても、とにかく練習をしないことには進歩はありません。

週に1時間しかない短い音楽の時間を大切にしましょう。

- ②特に合唱ではパート練習が大切になります。パートリーダー、ピアノリーダーを中心に自分たちでできることを積極的に協力してやっていきましょう。
- ③表現活動を積極的にするのと同じくらい、耳をよく使うことも大事です。無駄なおしゃべりはつつしみ、表現するときも鑑賞するときも音に集中しましょう。
- ④普段から音楽に関連するいろいろなことに関心を持ちましょう。音楽室の廊下の掲示板にもさまざまな情報がありますので、授業で音楽室に来たときに見てみましょう。

4 評価について

評価は3つの観点(①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③表現の技能 ④鑑賞の能力)を3つの段階(A 十分満足できている C 努力を要する)で行います。

①知識・技能

・積極的に表現活動に表現活動をするための発声や楽器で表現する基礎的な力がついているかを見ます。実技テストやワークシートで見ます。

②思考・判断・表現

・音楽の特徴やよさを受け止めているか、それを表現に生かそうと工夫しているか、また、曲の雰囲気やいろいろな要素を聴き取り、文化や歴史と関わらせながら、存じます。自分なりの音楽観を広げようとしているかを見ます。実技テストやワークシートで見ます。

③主体的に取り組む態度

・学習内容に対する取り組み状況、授業中の発言の内容、忘れ物の有無、提出物の有無を見ます。
なお①～③のどの項目にも実技テストの一部が入ることがあります。

5 音楽科の学習方法

(1) 音を大切に

- ・何と言っても歌ったり、楽器を演奏しないことには始まりません。初めは自信がなくても続けて取り組むことで音にも慣れていき、上達してきます。積極的に表現活動をしていこうとする姿勢が大切です。
- ・表現活動を積極的にするのと同じくらい、耳をよく使うことも大事です。無駄なおしゃべりはつつしみ、表現するときも鑑賞するときも音に集中しましょう。

(2) よりよい表現のために

- ・音楽に積極的に取り組めば取り組むほど、よりよい表現をしたくなるものです。そのためには、個人の意欲も大切ですが、クラスの雰囲気も大きく作用します。積極的に授業に取り組む明るいクラスでは、全体の前向きな雰囲気が個人の力を伸ばします。表現活動は時に、体を使うことで恥ずかしさを感じたり、思うようにいかないこともあるかもしれませんが、仮に失敗をしても、その意欲を認め合う雰囲気が欲しいものです。
- ・よりよい表現をするために、まずはいつもいい姿勢を保つようにしましょう。
先生はポイントをアドバイスします。他のパートや人への注意でも、自分に対することのように受け止めるよう心がけてください。しかし何といても、とにかく練習をしないことには進歩はありません。
短い音楽の時間です。とにかく一生懸命に取り組むことです。

- ・特に合唱ではパート練習が大切になります。パートリーダー、ピアノリーダーを中心に自分たちでできることを積極的に協力してやっていきましょう。

(3) 授業以外でも

- ・いろいろな音楽に関する情報が私たちの身の回りにあふれています。普段から生活の中で、自分の好きな音楽を中心にいろいろなジャンル・民族・時代の音楽にふれて関心を広げていくことが大切です。
- ・音楽室の廊下の掲示板にも、いろいろな高校や各種団体のコンサートのポスターを掲示したり、音楽に関する記事などを掲示しています。音楽室に来るときにぜひ見てください。
- ・何より、本物の音楽に触れることが大切です。授業で接することのできる音楽は限られています。機会があれば積極的に音楽会などに出かけて、自分の音楽の世界を広げていきましょう。
- ・音楽は人の活動ですから、歴史や文化と深く関わっています。社会・国語・英語・美術など中心に他の授業もしっかり受けましょう。

第2学年 美術科 学習案内

学習案内		領域分野	学習のねらい
前期	・ 自由な視点で 風景を見つめる	絵画 鑑賞	・ 遠近法や奥行き表現について興味をもつ。 ・ 風景画の制作を通して遠近法や奥行きを工夫して表現する。 ・ 奥行き表現がもたらす効果を感じながら鑑賞する。
	・ 空間を彩る 光の装飾	デザイン 工芸 鑑賞	・ 光が作り出す空間の美しさや使う場面などを基に主題を生み出す。 ・ 主題を基に、光の色や影の効果を考えながらランプシェードなどを制作する。
	・ 使う人の立場で 考える	デザイン 絵画 鑑賞	・ ユニバーサルデザインや社会・環境について考えたデザインを知り興味をもつ。 ・ 機能や使う人の気持ちを考えて発想し構想する。 ・ デザインの意図に合う材料や技法を選択し使いこなす。 ・ 未来の生活や環境デザインの役割について理解しながら鑑賞する。
	・ ひと目で伝わる みんなのデザイン	デザイン 絵画 鑑賞	・ デザインがもたらす社会への働きに興味関心をもつ。 ・ どのように展示したら伝わるか考えながら構想する。 ・ 目的に適した表現方法を検討し効果的に提案する。 ・ アイディアや伝達方法に注目して鑑賞する。
後期	・ 日本文化との出会い	鑑賞	・ ものの見方、とらえ方に興味を持ち粘り強く製作する。 ・ 描きかたの知識を学びながら工夫して構想する。 ・ 動きの捉え方の面白さを味わいながら鑑賞する。
	・ 瞬間の美しさを形に (選択) ・ しぐさで語る動物たち (選択)	工芸 彫刻 鑑賞	・ 動物の生命観や躍動感、表情やしぐさなどから表現の主題を生み出す。 ・ 生き生きとした動きを表すための形や色彩、材料などについて構想を練り、動き出しそうな動物の姿を追求しながら立体に表す。
	・ 日本の技と心を 受け継いで	デザイン 鑑賞	・ 日本の風景などを題材にした作品の色や技法に興味を持ち、積極的に鑑賞する。 ・ 季節感を取り入れ、日本の伝統や使う場面などを基に主題を生み出す。 ・ 伝統美術の特徴や素材を理解し、表現の効果をとらえる。 ・ 季節感を取り入れたアイディアや、その伝え方に注目して鑑賞する。

○観点別の目標（評価の方法）

評価の観点	評価の内容	評価の方法
知識・技能	・ 対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫して材料や用具の特性をいかし制作を行っているか。	作品 授業中の様子 提出物 プリント等
思考・判断・表現	・ 対象を良く見つめ、造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めているか。	デザイン 振り返り 鑑賞 等 定期テスト（学科・実技）
主体的に学習に取り組む態度	・ 美術の創造活動の喜びを味わい、授業に主体的に取り組む美術を愛好する心情を深めているか。	

第2学年 保健体育科 学習案内

学 習 内 容		学 習 の ね ら い
前 期	【体育理論】 授業の学び方	・授業の行い方を理解する
	【体づくり】 新体力テスト・吉中集団行動 体力を高める運動・ラジオ体操	・自分の体力を知る ・体力テストを行い、自己の体力を知る ・体力の必要性を理解する ・一斉指導により、運動の行い方を習得する
	【球技Ⅰ】 ○ソフトボール・バドミントン 目標と課題の設定・練習計画の 作成・課題別学習・ゲーム	・学習の進め方を理解する ・学習資料の利用方法を理解する ・課題解決の練習を行う ・ルールを工夫してゲームを行う ・基本的な技能を習得するような課題を設定する
	【水泳】 クロール 平泳ぎ・背泳ぎ	・安全に留意して活動する（パディシステム） ・能力別に班編成を行い、特に長く泳げるようにする ・グループごとに練習計画を立てられる の知識を確認する
	【陸上競技】 短距離走・リレー・走り幅とび	・グループごとに練習計画を立てる ・各自の課題をしっかりと持ち、自主的に活動する ・課題解決のための練習方法やポイントを参考にする
後 期	【陸上競技】 長距離走 ・ジョギング・タイム走 ・インターバルトレーニング	・自己の目標記録に挑戦して記録の向上を目指す ・自分の能力にあった練習の距離を見つける ・タイム、距離に挑戦する
	【器械運動】 ○跳び箱運動	・新しい技に挑戦するとき、自分の能力を分析し、無理な技にならないように学習する ・班の中で互いにアドバイスや補助をする ・器具の準備や片付けは班員全員が協力して行う
	【武道】○柔道 ・基本技能 足さばき 仕掛け技 応じ技 かかり稽古 試合	・礼儀作法や基本動作の大切さを理解する ・安全に配慮・注意をする ・各自の課題を明確にする ・互いにアドバイスを ・学習資料を利用し技を理解する ・公正な審判ができるようにルールをしっかりと理解する
	【体づくり運動】 ○体力を高める運動（縄跳び） ・サーキットトレーニング	・自分の体力を知る ・体力テストを行い、自己の体力を知る ・体力の必要性を理解する ・一斉指導により、運動の行い方を習得する
	【球技Ⅱ】 ○タグラグビー 守備・攻撃・簡易ゲーム ○バレーボール 基本的なパス・空いた場所のカ バー	・ゲーム的な練習から基本的な技能を身につける ・ゲームを通して自分のチームの弱点を知り、上達させるための練習が工夫する ・自分の役割を果たし、グループで協力して活動する
	【ダンス】 現代的なリズムのダンス （ソーラン節）	・リズムに乗って力強く舞う ・グループでの話し合いを活発にし、協力して活動する
	【保健】 健康と環境 傷害の防止	・身近なことを取り扱い、自分達のこととして考える ・疑問や今までの知識を考え、調べる

評価について

評価の観点	(ひとつ)の具体的な例	方法等
運動や健康・安全への 関心・意欲・態度	服装等が正しく安全である 大きな声を出し、仲間と協力するなど積極的である	・行動観察 ・学習カード ・アンケート
運動や健康・安全につ いての思考・判断	課題に気づき練習等を工夫することができる 次に繋がる学習のまとめや振り返りを行っている	・感想文 ・ゲーム分析表
運動の知識及び技能	基本の技を身に付けている より高い記録・結果を出している ゲームの進め方やルールを理解している 技の名称や、作戦を理解している	・定期テスト



技術・家庭科（技術分野）学習案内

○技術分野の目標

- 生活や社会で利用されている技術を理解し、技能を習得しよう。
- 生活や社会の中の技術に関わる問題を見つけ、課題を解決する力を身に付けよう。
- 適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする態度を身に付けよう。

○授業の約束

話を聞くとき

- ・顔を上げて前を向こう!
- ・ひざを先生に向けよう!
- ・腰骨を立てよう!

作業をするとき

- ・服装を整えよう!
- ・必要のない道具はすべて机の下の棚にしまおう!
- ・イスをしまって立って作業をしよう!

○学習の流れ（2年生）

前期

学習内容

内容B 生物育成の技術
地域の問題を見つけ、栽培方法を工夫して解決できるか?

学習のねらい

- 生物が成長する仕組み、生物の分類等の生物育成についての原理・法則と、作物、動物及び水産生物の育成に共通する基礎的な生物育成の技術の仕組みを知る。
- 生活や地域の中から生物育成の技術に関わる問題を見出し、現状をさらによくなるための解決すべき課題を設定し解決する。
- 解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する。
- 生物育成の技術についての概念の理解を深め、よりよい生活に向けて、技術を評価し、選択することについて考える。

後期

学習内容

内容C
エネルギー変換の技術
社会の問題を見つけ、電気回路を工夫して解決できるか?

学習のねらい

- エネルギー変換の技術の仕組みが分かる。
- 電気・光についての科学的な原理・法則と、電気から光への変換に関わる基礎的な技術の仕組みについて理解する。
- コードレス掃除機に用いられている技術の仕組み、開発の経緯や意図を調べる活動などを通して、エネルギー変換の技術の見方・考え方に気付く。
- エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、社会の中から問題を見いだして課題を設定する力を身に付けさせる。
- 具体化した解決策の解決活動として、安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができるようになる。
- 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとする態度を養う。
- エネルギー変換の技術についての概念の理解を深め、よりよい生活に向けて、技術を評価し、選択することについて考える。
- 社会の発展のためのエネルギー変換の技術の在り方や将来展望を考える活動を通して、社会に果たす役割や影響に基づいてエネルギー変換の技術の概念を理解するとともに、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、新たな発想に基づいて改良する力を身に付ける。

○評価について

評価の観点	評価の内容	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会の中にある技術について理解しているか。 ・技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているか。 ・生活や社会の中にある技術に関わる技能を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ ・提言レポート ・定期テスト ・作業、製作品
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会の中にある問題を発見し、改善のための課題を設定しているか。 ・課題の解決に向けて解決策を構想したり、自分の取り組みを振り返って改善しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ ・設計、製作レポート ・提言レポート ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・技術分野への学習を粘り強く取り組もうとしているか。 ・粘り強い取り組みの中で問題解決のために折り合いをつけようとしているか。 ・学習した知識や経験を生かして技術を工夫し創造しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ ・製作レポート ・提言レポート

第2学年 技術・家庭科（家庭分野） 学習案内

領域	学習内容	学習のねらい
B 衣食住の生活	[快適な衣生活を送ろう] ①自分らしくコーディネート ②つなげよう和服の文化 ③上手な衣服の選択 ④自分でできる衣服の手入れ ⑤布の繊維に応じた手入れ ⑥洗濯の基礎 ⑦補修や収納・保管 ⑧布作品で生活を演出 ⑨製作 ⑩持続可能な衣生活をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の保健衛生上のはたらきや社会生活上のはたらきについて理解する。 ・時、場所、場合に応じた衣服の着用や個性を生かす着用の工夫をすることができる。 ・目的に応じて衣服の選択をすることができる。 ・衣服を快適に着用するために、洗濯や補修などの手入れが必要であることを理解する。 ・取り扱い絵表示の意味を理解し、適切な手入れ方法を選択できる。 ・衣服の材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯と、衣服の状態に応じた適切な補修ができる。 ・布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。
C 消費生活・環境	[賢い消費者になろう] ①消費生活の仕組み ②家庭生活における収入と支出 ③いろいろな購入方法 ④購入前に知っておくこと ～売買契約～ ⑤いろいろな支払方法 ⑥情報を活用した上手な購入	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活における消費の重要性に気づき、消費者の基本的な権利と責任についての理解を深めるとともに、物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができるようにする。
B 衣食住の生活	[楽しく豊かに食べよう] ①地域の食文化 ②1日分の献立 ③持続可能な食生活をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を生かした料理を調べ、調理することができる。

評価の観点・方法

評価の観点	評価の内容	評価の方法
知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習時の様子、作品 ・実技テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 ・学習プリント ・定期テスト ・作品
主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習態度 ・学習プリント ・定期テスト

第 2 学年 外国語科 学習案内

	題 材	題材の目標	学習内容
前 期	Round 1 Unit 1 ~ Unit 8	・ピクチャーカードを見ながら本文を聞き、概要をとらえ、順番に並べかえることができる。	・動詞の過去形 ・look+形容詞 ・動名詞 ・不定詞（名詞的用法） ・接続詞 that ・未来形 (be going to, will) ・接続詞 (when, if, because) ・There is /There are ~ ・show +人+もの ・have to +動詞の原形
	Round 2 Unit 1 ~ Unit 8	・教科書の本文を、正しく読んだり、気持ちを込めて読んだり、本文を転写することができる。	・It's ~ for us to... ・助動詞 (must, should) ・不定詞（形容詞的用法、副詞的用法） ・形容詞、副詞の比較級、最上級、as ~ as
	Round 3 Unit 1 ~ Unit 8	・教科書の本文に設けられた空欄をうめながら本文を読んだり、書いたりすることができる。	・受動態 ・make +人+形容詞 ・動詞 (want 等) +人+ to do
	Round 4 Unit 1 ~ Unit 4	・ピクチャーカードを使い、教科書の内容を自分の言葉で話したり、書いたりすることができる。	
後 期	Round 4 Unit 5 ~ Unit 8	・ピクチャーカードを使い、教科書の内容を自分の言葉で話したり、書いたりすることができる。	・動詞の過去形 ・look+形容詞 ・動名詞 ・不定詞（名詞的用法） ・接続詞 that ・未来形 (be going to, will) ・接続詞 (when, if, because) ・There is /There are ~ ・show +人+もの ・have to +動詞の原形
	Round 5 Unit 1 ~ Unit 8	・過去のストーリーテリングをもう一度行い、自分の言葉で内容を話したり、書いたりすることができる。	・It's ~ for us to... ・助動詞 (must, should) ・不定詞（形容詞的用法、副詞的用法） ・形容詞、副詞の比較級、最上級、as ~ as
	Round 6 Unit 1 ~ unit 8 (3年の内容)	・ピクチャーカードを見ながら本文を聞き、順番に並べかえることができる。	・受動態 ・make +人+形容詞 ・動詞 (want 等) +人+ to do

評価について

評価の観点	具体的な例	方法等
○知識・技能	未来形の特徴やきまりを理解している。 未来形の特徴やきまりの理解を基に、教科書の内容を聞き取る技能を身に付けている。	・定期テスト ・単語テスト ・基本文テスト
○思考・判断・表現	教科書の登場人物の気持ちを理解し、要点を聞き取っている。	・定期テスト ・作品 ・リーディングテスト ・インタビューテスト ・スピーチ
○主体的に学習に取り組む態度	教科書の登場人物の気持ちを理解し、要点を聞き取ろうとしている。	・授業態度 ・提出物

時期	教材名	出典	配当 時数	学習指導要領の内容項目
前期 16時間	1 「できない」には価値がある — 吉藤オリィ	新しい道徳 東京書籍	1	A(5) 真理の探究、創造
	2 遠足で学んだこと	新しい道徳 東京書籍	1	B(9) 相互理解、寛容
	3 和食のこころ	新しい道徳 東京書籍	1	C(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度
	4 私のせいじゃない	新しい道徳 東京書籍	1	C(11) 公正、公平、社会正義
	5 あの子のランドセル	新しい道徳 東京書籍	1	A(1) 自主、自律、自由と責任
	6 「いじめ」について、あなたは思う？	新しい道徳 東京書籍	1	A(1) 自主、自律、自由と責任
	7 一冊のノート	新しい道徳 東京書籍	1	C(14) 家族愛、家庭生活の充実
	8 六千人の命のピザ	新しい道徳 東京書籍	1	C(18) 国際理解、国際貢献
	9 魔法使いの少年 — いつかの自分	新しい道徳 東京書籍	1	B(6) 思いやり、感謝
	10 道徳 × 情報モラル 「いいね」のために？	新しい道徳 東京書籍	1	C(10) 遵法精神、公德心
	11 左手でつかんだ音楽	新しい道徳 東京書籍	1	A(4) 希望と勇気、克己と強い意志
	12 祭りの夜	新しい道徳 東京書籍	1	C(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度
	13 日々を支える、散歩と朝ご飯 — 阿部 詩	新しい道徳 東京書籍	1	A(2) 節度、節制
	14 奇跡の一週間	新しい道徳 東京書籍	1	D(19) 生命の尊さ
	15 妹に	新しい道徳 東京書籍	1	D(19) 生命の尊さ
	16 道徳 × 防災 水辻村の決断	新しい道徳 東京書籍	1	D(19) 生命の尊さ
後期 19時間	17 みんなでとんだ！	新しい道徳 東京書籍	1	C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実
	18 夜のくだもの屋	新しい道徳 東京書籍	1	B(6) 思いやり、感謝
	19 本当の私	新しい道徳 東京書籍	1	D(22) よりよく生きる喜び
	20 宇宙人	新しい道徳 東京書籍	1	C(13) 勤労
	21 注文をまちがえる料理店	新しい道徳 東京書籍	1	B(9) 相互理解、寛容
	22 冬の使者「マガン」	新しい道徳 東京書籍	1	D(20) 自然愛護
	23 あいさつ	新しい道徳 東京書籍	1	B(7) 礼儀
	24 住みよい社会に	新しい道徳 東京書籍	1	C(12) 社会参画、公共の精神
	25 女子教育の夜明け — 津田梅子	新しい道徳 東京書籍	1	C(11) 公正、公平、社会正義
	26 道徳 × 情報モラル ゴール	新しい道徳 東京書籍	1	B(8) 友情、信頼
	27 書道パフォーマンスの挑戦	新しい道徳 東京書籍	1	C(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度
	28 NHK番組「SEED なやみのタネ」やっちゃんのなやみ	新しい道徳 東京書籍	1	C(13) 勤労
	29 宝塚方面行き — 西宮北口駅	新しい道徳 東京書籍	1	C(10) 遵法精神、公德心
	30 田老の生徒が伝えたもの	新しい道徳 東京書籍	1	A(2) 節度、節制
	31 人生でだいじなことは、みんなゴリラから教わった	新しい道徳 東京書籍	1	C(12) 社会参画、公共の精神
	32 男らしさ女らしさ、自分らしさ	彩の国の道徳 未来に生きる	1	A(3) 向上心、個性の伸長
	33 夜は人間以外のものの時間	新しい道徳 東京書籍	1	D(21) 感動、畏敬の念
	34 気づき — ドッジボールとぼくらの温度差	新しい道徳 東京書籍	1	B(8) 友情、信頼
	35 良心とのたたかい — 「レ・ミゼラブル」より	新しい道徳 東京書籍	1	D(22) よりよく生きる喜び

令和 8 年度 総合的な学習の時間 学習案内

各学年の総合的な学習年間活動計画

	1 年生	2 年生	3 年生
4 月	○ガイダンス(1) ・キャリアパスポート ○SST(1)	○ガイダンス(1) ・キャリアパスポート ○SST(1)	○ガイダンス(1) ・キャリアパスポート ○SST(1)
5 月	・「考える」スキル ○体育祭を成功させよう(7) ・各種目練習	・集団生活に必要なスキル ○体育祭を成功させよう(7) ・各種目練習	・自分の気持ちを伝えるスキル ○日本の文化に学ぼう(修学旅行)(18) ・京都の文化に学ぶ
6 月	○平和について学ぼう(校外学習)(7) ・平和資料館で平和について学ぶ ○ふくしの授業(3)	○上級学校について調べよう(8) ・上級学校に関する様々な情報を収集する ○ふくしの授業(3)	○ふくしの授業(3)
7 月	・福祉について学び、よりよい交流方法を知る ○平和について学ぼう(校外学習)(4)	・福祉について学び、よりよい交流方法を知る ○上級学校について調べよう(4)	・福祉について学び、よりよい交流方法を知る ○日本の文化に学ぼう(修学旅行)(8)
8 月	・学びをもとに恒久の平和について考える	・整理、分析 ・まとめ、発表	・京都の文化に学ぶ
9 月	○銀杏祭を成功させよう(7) ・装飾づくり、クラス合唱等	○SST(1) ・感情を扱うスキル ○銀杏祭を成功させよう(6)	○SST(1) ・感情を扱うスキル ○銀杏祭を成功させよう(6)
10 月	○SST(1)	・装飾づくり、クラス合唱等 ○体験学習から学ぼう(林間学校)(13) ・自然体験学習	・合唱、装飾
11 月	・集団生活に必要なスキル ○働く人から学ぼう(職場体験)(7) ・働く意義について考える ・地域の職場で体験学習	○未来の自分・なりたい自分について考えよう(立志式)(10)	○SDGs について学ぶ(4) ・SDGs について調べ、考える。
12 月	○SDGs について学ぼう(4) ・SDGs について調べ、考える。	・未来の生き方を考え、自分なりに表現し発表する ○感謝の気持ちを伝えよう(6)	○夢の実現に向けて(8) ・進学について考える ・面接練習
1 月	○感謝の気持ちを伝えよう(6) ・装飾づくり、学年出し物等	・三送会準備 ○修学旅行の下調べ(6)	・入試の心構え ・入試の手続き
2 月		・京都の寺社、仏閣について調べる	○中学校生活のまとめをしよう(12) ・手紙、メッセージ ・先輩から後輩へ(受検体験談)
3 月	○自分自身について考えよう(2) ・1年間を振り返り、自分を知ろう ・キャリアパスポート	○自分自身について考えよう(2) ・1年間を振り返り、自分を知ろう ・キャリアパスポート	・感謝の会 ・奉仕作業 ・キャリアパスポート

修学旅行： 6 月 5 日(金)～ 6 月 7 日(日) 【第 3 学年】

校外学習： 7 月 2 日(水)～ 7 月 4 日(金) 【第 1 学年】

職場体験活動： 12 月 9 日(水)～ 12 月 11 日(金) 【第 1 学年】

林間学校： 12 月 10 日(木)～ 12 月 11 日(金) 【第 2 学年】